

各位

平成 28 年 7 月 28 日

産経新聞社

メール誤送信とメールアドレス漏洩に関するお詫び

平成 28 年 7 月 28 日（木）午前 11 時過ぎ、産経新聞東京本社写真報道局から「勤務表入力のお願い」と題した電子メールを社内向けに送信する際、誤って社外の皆様に送信し、さらに、その送信先のメールアドレスが送信メール内で表示される事態が発生いたしました。深く反省するとともに、謹んでお詫び申し上げます。

【経緯】

本日、平成 28 年 7 月 28 日（木）午前 11 時 6 分、産経新聞東京本社写真報道局から、社内向けに「勤務表入力」を促す業務連絡を行った際、宛先欄に社外の皆様のアドレスを入力し、誤って送信、送信した全てのアドレスがメール上で表示されました。

【件数】

アドレスが表示されてしまった社外の皆様のアドレス件数は、106 件と判明しております。

【原因】

パソコンを操作した当社社員が、メールアドレスのリスト上で社員を選択して送信すべきところ、操作を誤りました。当該社員は、社内向け一斉メールであると考え、他者のメールアドレスが非表示になる「BCC」を使用しませんでした。

【再発防止策】

産経新聞社では事態を厳しく受け止め、詳しい原因を調査したうえで再発防止策を講じてまいります。

【本件に関する問い合わせ】

本件のお問い合わせは、産経新聞東京本社広報部（電話 03-3275-8956、土日祝日を除く午前 9 時半から午後 6 時半）まで、お願いします。

以上